

第16回災害対策本部会議における知事コメント

本日も猛暑の中、被災地で対応に当たっていただいている国、市町村、関係機関、そして全国から応援に駆け付けていただいている職員の皆様、ボランティアの皆様に、改めて感謝申し上げます。

また、全国各地から、ふるさとくまもと応援寄付金や企業版ふるさと納税、義援金による御支援も多数いただいております。本日公表いたしました、昨日の時点で43億円を超えたところでございます。皆さまの熊本を応援する熱い思いに、心から感謝いたします。被災者の支援や復旧・復興に、大切にに使わせていただきます。ありがとうございます。

現在は、インフラの復旧等を進めながら、避難されている方々の命と健康を守り、生活再建へとつなげていく段階となっています。引き続き、皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

本日は、私から4点コメントさせていただきます。

1点目は「避難所環境の改善」です。

昨日から、国と連携して仮設トイレやトイレカーを増設するとともに、関係団体によるトイレの清掃を開始しています。

そして、本日は被災市町に対して、食事環境の改善に関する周知を行いました。避難所生活が長期化する中では、栄養バランスのとれた食事の提供が重要です。あわせて、お弁当業者のリストも周知していますので、ご活用いただきたいと思います。

2点目は「すまいの確保」です。

賃貸型応急住宅、いわゆる「みなし仮設」については、現在11市町村で受付が開始されています。罹災証明が手元にない場合でも、被災住宅の写真などで確認ができる場合は、事後の提出でも申し込んでいただくことが可能となっておりますので、市町村とも連携して、しっかりと周知して参ります。

また、県営住宅において被災者を受け入れることとし、本日、受付けを開始しました。本日正午時点で6件の申し込みをいただいております。

被災された方々が一日でも早く応急的なお住まいに移っていただけるよう、引き続き、様々な支援を講じて参ります。

3点目は、「台風への備え」です。

県建設業協会や自衛隊等と連携したブルーシートを張る作業を、本日から開始しています。費用に対する支援制度もありますので、大切なご自宅を守るため、ぜひ御活用ください。

また、車中泊や自宅避難をされている方は、気象情報や避難場所の確認、食料の備蓄など、今のうちにできる備えをお願いします。

なお、台風の接近に伴い、一時的に給水支援のペースが落ちる可能性が昨日の段階ではございましたが、落ちるペースは少なくなったと、今、自衛隊、海上自衛隊からの説明を聞いて心強いと感じたところです。ただ、避難所、給水場所が台風によって取扱いがない場合もございます。避難所、自宅避難を含めて、避難されているすべての皆さまにおかれては、

令和8年（2026年）8月6日16時00分

防災推進課

万が一、生活用水が不足する場合には、ペットボトルの水をトイレや洗い物に使用ください。

4点目は、「ボランティア」です。

いよいよボランティアの皆様、被災地にお越しください。八代市を除くすべての市町で活動開始日が確定いたしました。また、八代市も募集は開始しております。どうか、今週末からお盆にかけて、一人でも多くのボランティアの皆さんに、熊本にお越しいただきたいと思います。ボランティアの皆さん、ボランティア活動を検討されている皆さん、どうか被災地に力を貸してください。よろしくお願いいたします。

地震・酷暑・台風と、たいへん厳しい状況ではありますが、皆で一丸となって乗り越えていきましょう。よろしくお願いいたします。